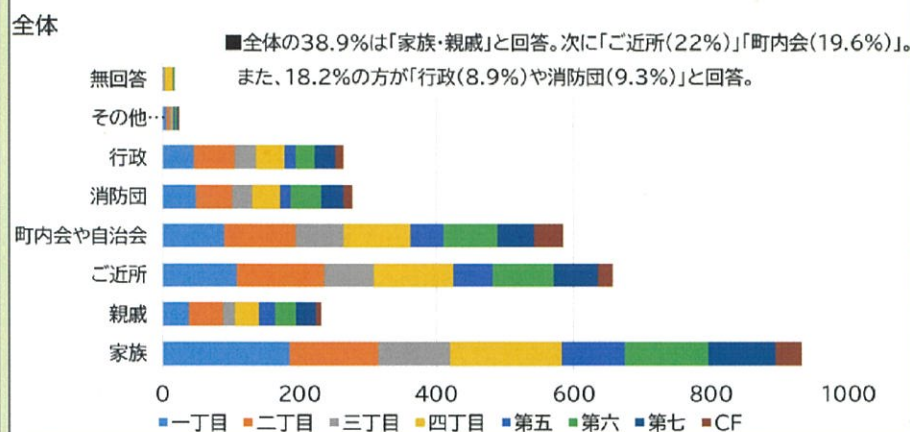
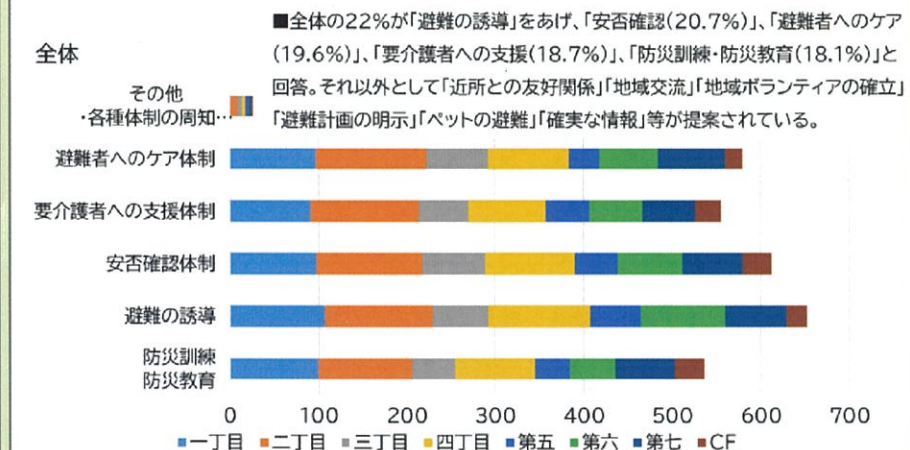


●アンケート集計結果(抜粋)つづき

【問 15】あなたが災害の時に最も頼りにすると思うものを最大3つ選んでください。



【問 16】あなたが地域の防災にとって必要だと思うものを選んでください。(複数回答可)



●自由記述式項目の主なご意見等●

【問17】「住民が地域の災害に備えてできることは何か？」
 ・第1位 自助のため、非常食や防災用品等の備蓄
 ・第2位 住民同士のコミュニケーションをとっておく
 ・第3位 防災訓練・避難訓練等への参加
 ※回答総数 624 件

【問18】「住民が災害時に地域のためにできることは何か？」
 ・第1位 住民同士の助け合いおよび声かけ等
 ・第2位 自治会町内会への協力
 ・第3位 ボランティア活動に従事
 ※回答総数 562 件

【問19】「地域防災についてのご意見は？」
 ・第1位 防災訓練のマンネリ化
 災害時の具体的な行動基準の検討を
 ・第2位 避難場所へのロードマップの作成
 ・第3位 正確な情報と的確な誘導
 ・第4位 防災訓練や防災教育に力を入れてほしい
 コロナ禍でも安心して避難できる環境整備
 地域での避難訓練を定期的を実施すべき
 人口に対し避難所キャパは足りているのか
 ※回答総数 131 件

以上、多くのご意見をいただきましたが、紙面の都合により割愛させていただきました。
 今後は、このアンケートデータを基に、東山田連合町内会および関係団体等と調整のうえ「活きた防災対策」「活きた地域福祉活動」を目指し、東山田地区の安心・安全に努めていきます。

社会福祉協議会

東山田地区社協だより

東山田連合町内会
 会長 小泉 武
 発行所 東山田地区社会福祉協議会
 会長 中澤 宏

～地域で支える健康づくり～

地域の健康づくりサポーター“保健活動推進委員”



東山田地区は、高齢化が進む地区のひとつです。私達は、『地域で支える健康づくり』を目標に赤ちゃんからシニアまで、楽しく参加できる保健活動を啓発して行きたいと考えます。それは[健康寿命]を延ばす事に通じます。健康寿命とは、『健康上の問題で日常生活が制限される事なく生活できる期間』です。活動の一環として、子供が集える場&高齢化が集える場を提供し、家から外に出かける機会を増やしつつ、これからも健康づくりのお手伝いをして行きたいと思えます。

保健活動推進委員として、健康チェック、赤ちゃん会、ウォーク&フェスタ、全体研修会等に参加し知識を吸収して参りました。ふとした時に、その経験が地域の皆様の連携、輪を広げる手助けになれば嬉しいです。

これからも地域の健康づくりサポーターとして頑張ります！



第 6 回「横浜地域福祉フォーラム」で東山田地区社協が発表しました

【日時:令和 3 年 9 月 10 日 会場:関内ホール 主催:横浜市社協 協賛:横浜市】

テーマ 『変わりゆく日常でも、よりそえるまちへ』

【概要】

テーマについての基調講演(東京都立大学 室田准教授)の後、分科会(テーマ「このまちで、つながりつづける」)が行われ、東山田地区社協から『みんなでかんがえる場』は地区社協が作る』を主題にして発表しました。コロナ禍により活動休止となった各町内会の「ちょっと立ち寄れる場(カフェ)」や福祉ボランティア団体の代表が、地区社協主催の「地域福祉団体による合同連絡会」に参加し、コロナ禍で苦労しながら工夫した活動の情報交換や活動再開に向けた取組みについて発表しました。



zoom ミーティング参加発表 『コロナ禍で見えてきた緩やかにつながる方法とは』

【日時:令和 3 年 10 月 15 日 会場:北山田地区センター 主催:東山田地域ケアプラザ】

東山田地区 2 つのカフェが参加し活動を紹介、発表しました。

ダイヤ高齢者研究財団、澤岡先生 の講演の後、コロナ禍により、サロンや地域の昼食会など、みんなで集まる活動が困難な状況下、どうしたらつながりを持続できるか等について、「チャコ村」及び「3丁目カフェ」から活動状況を発表、聴講された皆さんからの反応は大変好評でした。関係者の皆様お疲れさまでした。



●東山田地保健活動推進委員の紹介●

…主な活動・年間スケジュール…

- 5月 コミハフェスタ参加。骨密度など測定。
- 8月 連町盆踊り大会、救護として参加。
- 10月 連町運動会、救護として参加。
コミハ事業:健康フェスタに参加。
- 11月 区民祭り・ウォーク&フェスタに参加。
- 2月 保活全体研修に参加。
- 3月 健康マラソンに参加。
- *毎月の赤ちゃん会手伝い(8月・1月除く)
- *奇数月に打ち合わせ

…メンバー紹介…

- 一丁目 西本かおり
- 二丁目 萩原葉子
- 三丁目 福島有紀
- 四丁目 佐藤久子
- 第五 青木香織
- 第六 松田広子
- 第七 小泉巨奈・佐藤由佳
- コンフォール東山田 中島久巳



東山田地区保健活動推進委員の皆さん
 東山田中コミュニティハウススタッフ
 都筑区福祉保健課の皆さん
 (令和3年10月30日 健康フェアにて)
 (敬省略)

「防災に備えた住民アンケート調査」調査結果の報告 <概要版>

令和2年9月に実施した「防災に備えた住民アンケート調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。
 本調査は、今後の東山田連合町内会の防災対策を進めるうえでの「基礎データ」の取得および福祉を踏まえた自主防災のあり方を検討するために、地域の皆さんの防災に対する意識や居住環境ならびに災害に対する不安や問題点を把握することを目的としたものです。
 大勢の会員の皆様にご協力いただき、集計の概要がまとまりましたので一部を報告いたします。
 なお、詳細版については、後日あらためて報告させていただきます。

●調査概要

- 調査実施期間 令和2(2020)年9月～令和3(2021)年9月
- 調査対象 東山田地区自治会町内会加入世帯 2627件
- 調査方法 無記名式調査票の配布およびインターネット受付
- 調査機関 東山田連合町内会・東山田地区社会福祉協議会



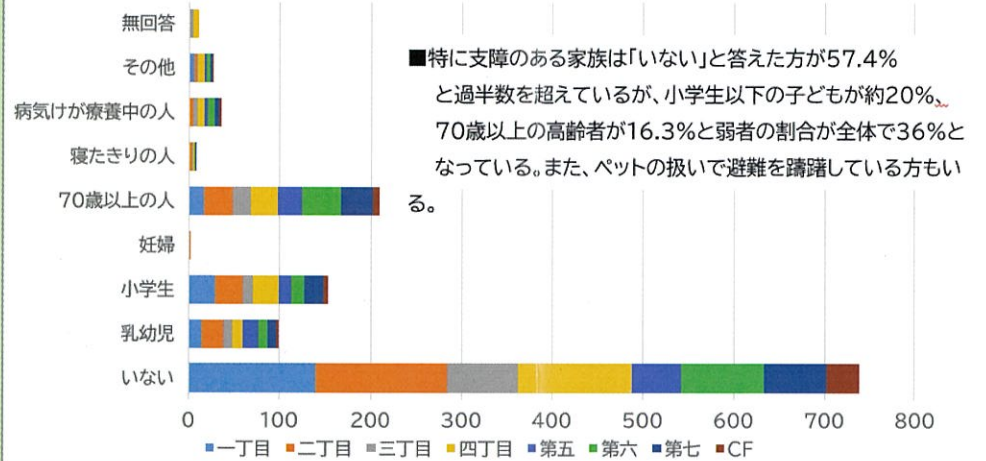
●アンケート集計結果(抜粋)

Ⅱ 各町内会・自治会への調査票配布および回収実績

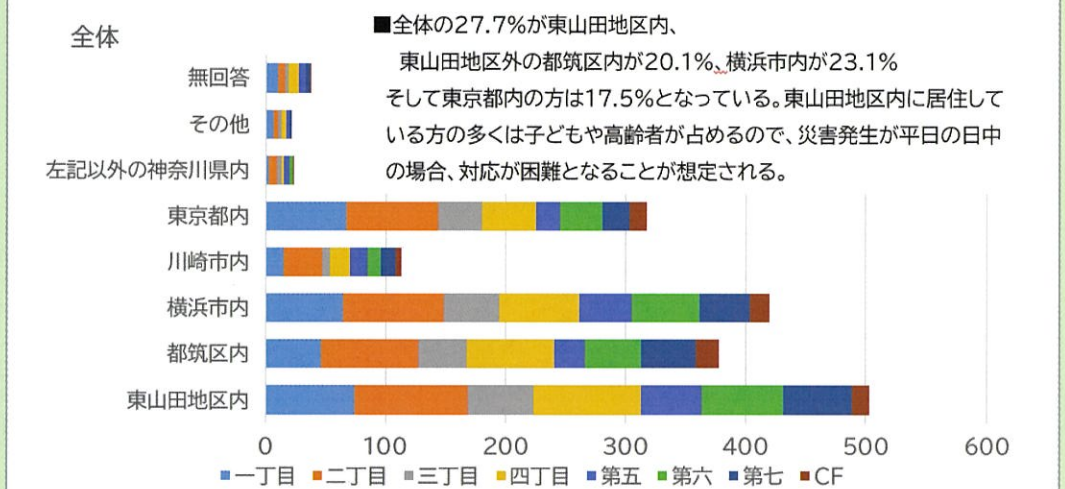
	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	第五	第六	第七	CF東山田	合計	
ネット回収	156	148	74	115	56	77	66	25	717	1184
書面回収	43	82	46	69	53	77	69	28	467	
会員数	490	475	226	395	332	329	295	85	2627	
会員数に占める回収割合	40.6	48.4	53.1	46.6	32.8	46.8	45.8	62.4	45.1	

東山田連合町内会加入世帯総数2627世帯に配布、回収数は1191世帯(ネット回収717、書面回収467)となり回収率は45.1%で、地域での防災に対する意識が高いことがわかりました。また、回収数1184のうち、ネットでの回収率は60.5%となり、現世を反映した結果となりました。

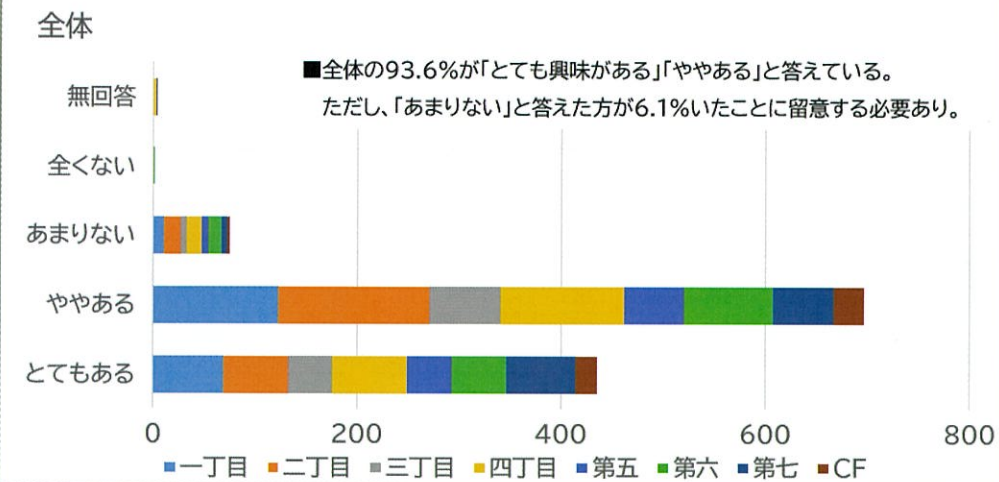
【問5】現在居住しているご家族の中で、災害の時に、ひとりでの避難に支障があると思われる方はいますか？あなた自身が該当する場合も含めてお答えください。(複数回答可)



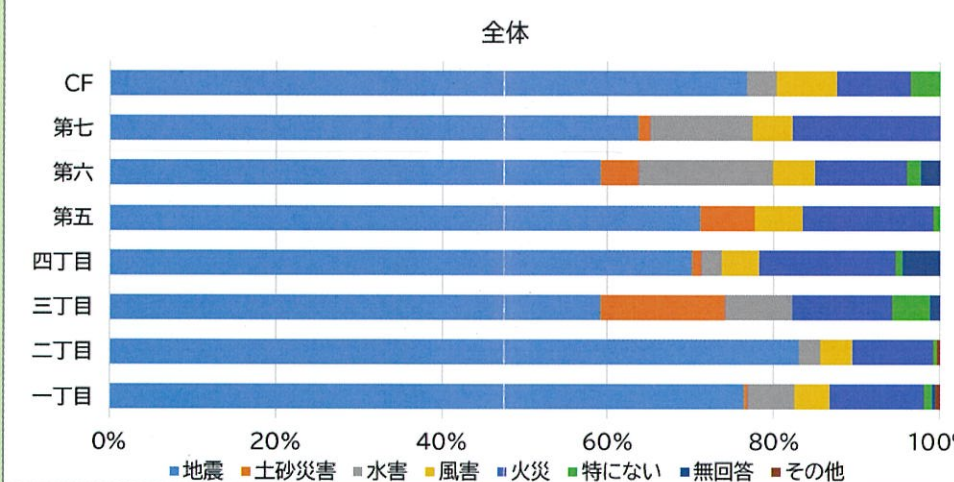
【問6】あなたを含め、通勤・通学をしている家族が主に日中過ごしている場所はどこですか？(複数回答可)



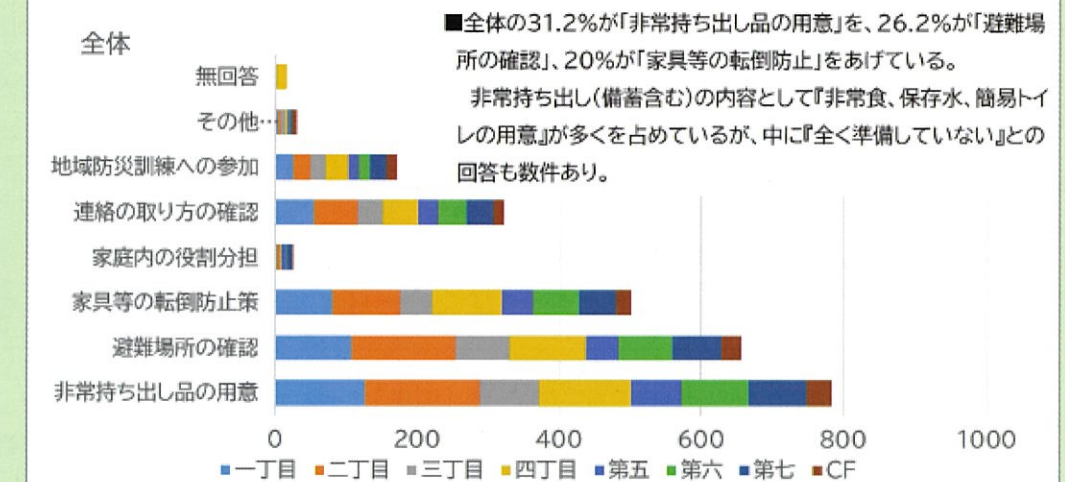
【問7】あなたは防災に関心がありますか？(連合町内会全体)



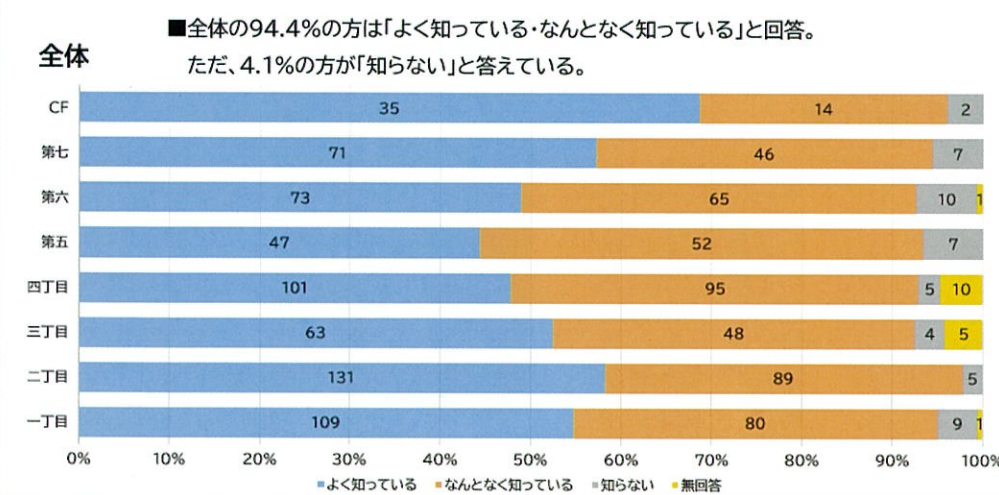
【問8】あなたが、今一番心配な災害は何ですか？



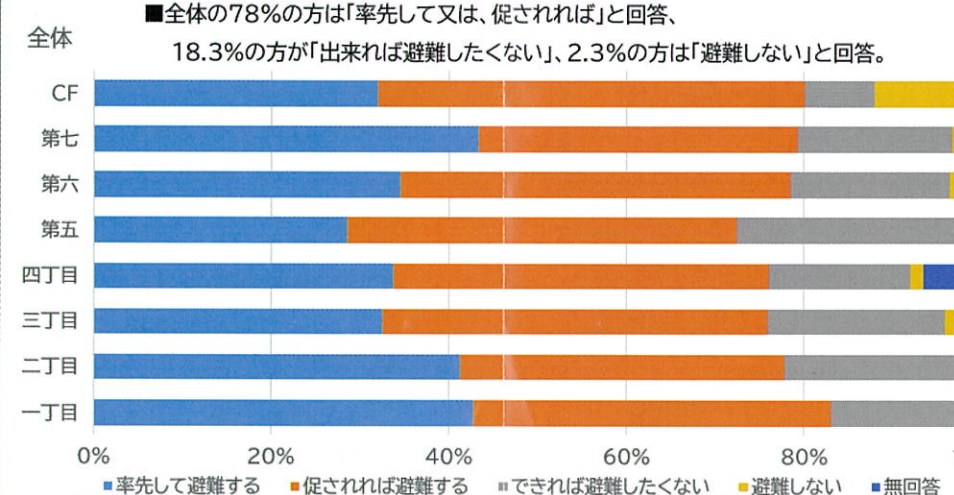
【問9】あなたの家庭で行っている、災害時の備えを教えてください。(複数回答可)(連合町内会全体)



【問10】あなたは最寄りの災害時避難場所を知っていますか？



【問11】避難勧告が出されたら、あなたは避難したいと思いますか？



【問13】あなたの家族は自力で最寄りの避難場所まで避難できると思いますか？

